

## 愛知県「知の拠点あいち重点研究プロジェクト IV期」で実施する 自動運転サービスの公開実験に参画

～遠隔監視システムで自動運転技術のスマートシティへの応用開発の一翼を担う～

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町 代表取締役社長：二之タ 裕美）は、アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長：加藤 淳）と名古屋大学（所在地：愛知県名古屋市）の2企業1機関と共に、2022年度より愛知県の「知の拠点あいち重点研究プロジェクト IV期」において『自動運転技術のスマートシティへの応用』を研究開発テーマとして実施しており、このたび、プロジェクトの最終成果に向けて、2024年6月27日（木）、28日（金）の2日間、知の拠点あいち（豊田市）にて実施する自動運転サービスの公開実験に参画します。

当社は車両外に取り付けた複数台のカメラの映像を合成処理し、映像品質を維持したままりアルタイムに遠隔監視センターへ伝送し、運行中の車両の走行状況や車外の状況を1台のパソコンで一括監視することができる、監視者の負担が少ない安心・安全な遠隔監視システム等で本プロジェクトに参画しています。

自動運転サービスの公開実験の概要は下記、愛知県の記者発表資料をご参照ください。

<https://www.pref.aichi.jp/press-release/20240620.html>

### 【『自動運転技術のスマートシティへの応用』研究開発体制・役割分担】

企業・機関	研究開発領域	研究開発項目
東海理化	安全運行技術開発	遠隔監視高度化技術/フィールド検証/PoC（※）、 実用化推進
アイサンテクノロジー	研究統括 ・高精度地図配信、点群データ活用、MaaS-自動運転連携、安全運行技術開発 ・PoC、実用化推進	・高精度地図配信技術、LiDAR データ利活用技術開発 ・MaaS デマンドシステム-自動運転システム連携用ツール開発 ・遠隔監視高度化技術開発 ・フィールド検証/PoC、実用化推進
名古屋大学	自動運転車とのインフラ連携	インフラ-自動運転システム連携技術/フィールド検証/PoC、実用化推進

※PoC：Proof of Concept の略。新しい概念や理論、原理、アイデアの実証を目的とした、試作開発の前段階における検証  
デモンストレーション

《参考資料》2022年8月当社発表：愛知県「知の拠点あいち重点研究プロジェクト IV期」に採択

<https://www.tokai-rika.co.jp/release/file/20220801000703.pdf>